

医師の働き方改革と
新しい専門研修制度における

新しい時代の 勤務医像



2023年 木曜日

9月21日

11:30 - 12:30

会場 仙台国際センター (第13会場 展示棟会議室2)

定員 180席 (※)

座長

石巻赤十字病院
院長

石橋 悟



演者

仙台オープン病院
消化器病センター長

伊藤 啓



※本セミナーは整理券制です。

配布場所：仙台国際センター 会議室等 2F ホワイエ

配布場所：2023年 9月21日 (木) 8:00~11:00

セミナー抄録

医師の働き方改革と新しい専門研修制度における 新しい時代の勤務医像

仙台オープン病院 伊藤 啓
消化器病センター長

当院は仙台市と仙台市医師会の協力により、1976年に公設民営型の医師会病院として開設し、当初より「オープンシステム」という独自の診療体制を採用している。平成9年の医療法改正において創設された地域支援病院は、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を行い、かかりつけ医等への支援を通じて地域医療の確保を図る病院として策定され、当院が従来から行なっている診療体制に合致するもので、平成10年に全国第一号の地域支援病院として承認されている。われわれが考える地域医療連携で最も基礎となる重要事項は、紹介患者への適切な専門医療の提供である。そのためにはスタッフ全員が同じ意識を共有していること、常に最新機器の導入が行える環境や学術活動への積極的参加による最新の診療にアップデートすることが重要である。医療連携においてはICTを最大限活用する一方で、face to faceでの交流も良好な関係構築には必要である。また連携強化には双方向のやり取りを重視して互いのニーズに寄り添う姿勢が求められる。

当院では消化器や循環器、呼吸器の専門医療、救急医療、健診業務の提供を三本柱としている。特に消化管・肝胆膵内科は、年間2万件を超える内視鏡検査や治療を行う全国でも屈指のhigh volume centerで、全国から国内留学を受け入れ学術活動も活発に行なっている。以前から必然的に臨床業務含め実労働時間が長い状況が続いていた。日々変わりゆく医療情勢のなかで、医療従事者、特に医師の労働環境は変革の時期を迎え、2024年4月施行となる医師の働き方改革においては、長時間労働が常態化していた医師の労働時間の短縮や健康確保のための措置が実施される。当科でも長い期間をかけて労働環境の整備を行い、スタッフ一人一人が生き生きと仕事ができるよう、①非常勤医師を含めたスタッフの増員、②タスクシフトの実現、③救急医療改革、④女性医師の産休、男性医師の育児休暇、⑤有給休暇取得の奨励、⑥ハラスメント対策などを行ってきた。時間外勤務の減少に伴い外勤の役割も大幅に見直し、病院経営戦略にプラスになりながら、待遇改善および多様なキャリア形成が可能なよう最大限配慮した。

近年改訂された専門医研修制度により、内科系専門医の取得のための研修は大きく姿を変えた。現場では各種登録や手続き、委員会設置や開催、講習会の増加など、働き方改革に齟齬をきたしかねない。また医師の働き方改革は、研修時間の短縮を余儀なくされている。当院ではこのような状況を鑑み、専攻医のモチベーションを毀損することがないようにプログラムの整備を行い、希望するキャリアパスを描けるよう配慮している。特に初期研修から当施設に在籍している医師にはシームレスな研修を行ない、効率的にサブスペシャリティ研修も併用している。医師養成過程の見直しも控え、今後古い制度の見直しが更に必要である。

新しい制度が導入される場合には、とかく負の側面に囚われがちとなる。しかし、これは以前変えることができなかつた項目も連動して一緒に変革できる好機と考える。持続可能な新たな時代の勤務医像を目指し、古びた不要な価値観から脱却するため不断の努力が必須である。